

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009001	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Target students	E4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tmatsumoto niu.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	0956-20-5532 (長崎国際大学人間社会学部国際観光学科)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は、授業中、授業の前後、もしくはEメール (tmatsumoto niu.ac.jp) にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	映画「ブラダを着た悪魔」を用いて、映画のストーリーを楽しむ中で、話すための英文法を学び、依頼、称賛、反論など、様々な場面に応じた会話表現を学びます。具体的には、映画の中に出てくる重要単語や語句の意味を理解し、映画を視聴して、音読練習やロールプレイを行います。視聴後は、映画の内容に関連するトピックについてディスカッションを行い、映画の場面に基いた会話の続きを創作します。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語を使用してのタスクを行うことができる。</li> <li>2. 英語を使用して、様々な考えを伝えることができる。</li> <li>3. 指示を出したり、従ったりすることができる。</li> <li>4. 様々な話題について議論をすることができる。</li> <li>5. 日常生活や将来の目標に関するトピックについて英語でコミュニケーションをとることができる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</li> <li>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</li> <li>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</li> <li>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</li> <li>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</li> <li>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</li> </ol>		
成績評価の方法・基準等/Grading	成績評価は、定期試験 (30%)、授業時に出される宿題を含む課題の成績 (10%)、授業での質疑応答や会話練習などにおける積極的な取り組み (20%)、TOEIC-IP (20%)、e-learning教材学習テスト (20%) で行います。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前には、重要単語や語句の意味の確認を辞書を用いて行い、授業後には、音読練習をして、場面に則した英語を少しでも多く身に付けてください。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ブラダを着た悪魔』で学ぶコミュニケーション英語/角山照彦, Simon Capper編著 / 松柏社 / 2,200円 + 税		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	授業前には、重要単語や語句の意味の確認を辞書を用いて行い、授業後には、音読練習をしておくこと。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻、欠席、途中退室などをせず、積極的に授業に参加することを期待します。</li> <li>・授業前には、重要単語や語句の意味の確認を予習として行い、授業後には、音読練習をしてください。</li> <li>・辞書（電子辞書可）を持参の上、授業に臨んでください。</li> </ul>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 授業内容と評価方法等の説明、アンケートの実施
第2回	Unit 1, リスニング, ディクテーション, ロールプレイ, ディスカッション, 過去完了形, 別れ際の挨拶表現
第3回	Unit 1, リスニング, ディクテーション, ロールプレイ, ディスカッション, 過去完了形, 別れ際の挨拶表現
第4回	Unit 2, リスニング, ディクテーション, ロールプレイ, ディスカッション, 助動詞1, 依頼の表現
第5回	e-learning教材学習テスト第1回目, Unit 3, リスニング, ディクテーション, ロールプレイ, ディスカッション, 関係代名詞1, 反論の表現
第6回	Unit 4, リスニング, ディクテーション, ロールプレイ, ディスカッション, 現在進行形, 困惑を示す表現
第7回	Unit 5, リスニング, ディクテーション, ロールプレイ, ディスカッション, 助動詞2, 聞き返す表現
第8回	Unit 6, リスニング, ディクテーション, ロールプレイ, ディスカッション, 分詞, 希望を伝える
第9回	Unit 7, リスニング, ディクテーション, ロールプレイ, ディスカッション, 仮定法, 驚きを示す表現
第10回	Unit 8, リスニング, ディクテーション, ロールプレイ, ディスカッション, 現在完了形, 確認する表現
第11回	Unit 9, リスニング, ディクテーション, ロールプレイ, ディスカッション, 動名詞, 提案する表現
第12回	Unit 10, リスニング, ディクテーション, ロールプレイ, ディスカッション, 受動態, 意思・予定を述べる表現
第13回	e-learning教材学習テスト第2回目, Unit 11, リスニング, ディクテーション, ロールプレイ, ディスカッション, 関係代名詞2, 称賛する表現
第14回	Unit 12, リスニング, ディクテーション, ロールプレイ, ディスカッション, 使役動詞, 丁寧に依頼する表現
第15回	Review, Unit1-12の総復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009002	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn hotmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。</p> <p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、ほぼ毎レッスンLACSを使って小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画 (DVD視聴) を使用し、Readers' theater (朗読劇) などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつなぎ方、問の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めて行きます。</p> <p>(1) LACSによる小テスト  (2) テキストを使用した演習 (グループワーク、Readers' theater 等の活動、あるいは配布物による学習を含む)  (3) 3分間 (フリーorトピック) トーク 録音 評価  (4) 洋画視聴 (5分程度)  提出されたグループワークは、添削評価して返却します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できるようになる。  (2) 与えられた写真 (あるいは絵) を見て的確に英語で表現することができるようになる。  (3) やや簡易な会話を聞いて要約できるようになる。  (4) その会話の和訳を英訳できるようになる。  (5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができるようになる。  (6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容をある程度理解することができるようになる。  (7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習しネイティブにより近い発音で音読できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	<p>定期試験20%、授業への取り組み、小テスト、グループワーク、Readers' theater等 40%、TOEIC-IPの結果20%、課外学習のe-Learning(e-learning教材学習テスト2回20% (3 Step Call System, Power Words))を総合的に判断します。</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各自テキスト付属のCD-ROM等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。
キーワード/Key word	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 2 Student's Book B with Self-study CD-ROM』 Cambridge University Press - ISBN: 978-0-521-12704-2を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	教科書、英語辞典(電子辞書も可)、配布物を毎回持参、また毎回授業に出席すること(時間厳守)。学習する内容はきちんと予習復習すること!
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語が話せる(使える)と世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回 4月9日	第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明します。授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワーク(G/W)を通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特に、スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater(朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、自分の会話を録音して接続表現、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属のSelf-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価20%)。  オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第2回 4月16日	テキストShopping
第3回 4月23日	Shopping (G/W)
第4回 5月7日	Shopping, e-learning復習他
第5回 5月14日	1回目e-learning教材学習テスト(3step, Power words), Shopping
第6回 5月21日	Readers' theater @ (G/W)
第7回 5月28日	In a restaurant
第8回 6月4日	In a restaurant (G/W)
第9回 6月11日	In a restaurant
第10回 6月18日	Readers' theater A (G/W)
第11回 6月25日	In a restaurant & Fun in the city
第12回 7月2日	Fun in the city (G/W)
第13回 7月9日	2回目e-learning教材学習テスト(3step, Power words), Fun in the city
第14回 7月17日	Fun in the city, Review
第15回 7月23日	Review
第16回 7月30日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009003	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Target students	経済学部(E6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:10~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしアウトプットすることによって英語の総合力向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1・英語を発話することに慣れる</li> <li>2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させる</li> <li>3・グループワークを通し他のグループメンバーといかに協力しプレゼンテーションを成功の為に自ら考え実行に移す</li> <li>4・e-Learningを通して主にinputを行い、授業を通してoutputを行うことで総合的な英語運用能力の向上を目指す</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	Speaking Practice (10点) + プレゼンテーショングループ評価 (20点) + 定期試験 (20点) + レポート提出 (10点) + TOEIC-IP (20点) + e-learning教材学習テスト (20点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業時に行う音読の練習を授業後にも行ってください。プレゼンテーション用の原稿に関しても期日までに作成終了するよう授業時間で終われない分は事後学習になります。また、英語環境を作るために英語で英語やドラマの鑑賞を積極的に行ってください。各自目指している英語の試験がある場合は問題集などに取り組んでください。		
キーワード / Key word	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時にプリントを配布します。TEDやEnglish centralの動画を使いながらリスニング及び音読のトレーニングを行います。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるように、この授業を通し英語を使う練習をします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を総合的に活用するよう試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/9	Orientation Speaking activity Group activity
第2回 4/16	Listening activity Speaking activity Group activity
第3回 4/23	Listening activity Speaking activity Group activity
第4回 5/7	Listening activity Speaking activity Group activity
第5回 5/14	e-Learning教材学習test @ Speaking activity Group activity
第6回 5/21	Listening practice Speaking practice Group activity(rehearsal)
第7回 5/28	Presentation @
第8回 6/4	Listening practice Speaking practice Group activity
第9回 6/11	Listening practice Speaking practice Group activity
第10回 6/18	Listening activity Speaking practice Group activity
第11回 6/25	Listening practice Speaking practice Group activity
第12回 7/2	Reading practice Speaking practice Group activity
第13回 7/9	e-Learning教材学習test A Speaking practice Group activity(rehearsal)
第14回 7/17	Presentation A
第15回 7/23	Speaking practice
第16回 7/30	Examination

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009004	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Target students	水産学部1年生 (F1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	midwinter.jk@gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	9043429702		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日12:00?12:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	CEFR B1レベル (「自立した英語使用者」) の総合教材を用いて、高校までに習得した音声理解、意味理解、構造理解、読解能力、発話能力を復習しつつ、それらをより実践的な状況・文脈の中で捉え直すことによって、「使える英語」を身につけるための授業をおこないます。		
授業到達目標 / Course goals	CEFR B1レベルにもとづき、英語によって、 1. 日常的に遭遇する身近な話題について、明快で標準的な情報であれば主旨を理解できる。 2. 馴染みがあるか、個人的に興味のある話題について、単純な脈略のある文章を作ることができる。 3. 経験や出来事、夢、希望、野心を説明でき、意見や計画に関する理由や説明を短く述べるができる。 ?以上の3つを目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	TOEIC-IP : 20% e-Learning教材学習テスト (2回) : 20% 定期試験 : 30% Preview Quiz : 10% Review Quiz : 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習 : 次回の授業の語彙、会話、トーク等の音声理解。読解用英文の内容理解。英語で書かれた文法解説を理解できるようにしておく。 事後学習 : 授業で学習した内容を踏まえて、1パラグラフ程度の短い英文を書く。		
キーワード / Key word	CEFR B1		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Teruhiko Kadoyama, Andrey Dubinsky & David Edward Keane, New Connection Book 2 (CEFR A2-B1)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	原則として全回出席し、すべての小テストを受けることを単位認定の要件とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	音声ファイルダウンロードサイト <a href="http://www.seibido.co.jp">http://www.seibido.co.jp</a>
学生へのメッセージ/Message for students	上記サイトから、音声ファイルを無料ダウンロード、ストリーミングできます。成績評価には特に含みませんが、自宅でのリスニングや音読の練習(シャドーイング等)を奨励します。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 ( April 9 )	Orientation
第2回 ( April 16 )	Unit 1: Roommates Expressions: Describing Personal Qualities / Asking about Problems Grammar: Simple Future Tense
第3回 ( April 23 )	Unit 2: Checking Out Expressions: Making Suggestions / Giving Warnings Grammar: Adverbial Clauses
第4回 ( May 7 )	Unit 3: Get in Shape Expressions: Discussing Health Grammar: Noun Clauses
第5回 ( May 14 )	Unit 4: Money Management Expressions: Describing Financial Situations / Talking about Your Budget Grammar: Negative Questions * e-Learning教材学習テスト1回目
第6回 ( May 21 )	Unit 5: Close Ties Expressions: Expressing Surprise / Talking about Progress Grammar: Tag Questions
第7回 ( May 28 )	Unit 6: Time to Celebrate Expressions: Making and Responding to Invitations Grammar: Relative Clauses
第8回 ( June 4 )	Unit 7: Animals in Danger Expressions: Being Frank and Joking / Showing Understanding Grammar: Simple Past Tense vs. Present Perfect Tense
第9回 ( June 11 )	Unit 8: A Fine Art Expressions: Talking about Natural Talents Grammar: Conditionals
第10回 ( June 18 )	Unit 9: Tune In Expressions: Relaxing Grammar: Present Perfect Continuous
第11回 ( June 25 )	Unit 10: Music to Our Ears Expressions: Discussing Success / Talking about Influence Grammar: Types of Relative Clauses
第12回 ( July 2 )	Unit 11: Study Abroad Expressions: Talking about Easy and Difficult Things / Expressing Worry Grammar: Relative Adverbs
第13回 ( July 9 )	Unit 12: Technology and You Expressions: Expressing Function / Discussing Technology Grammar: Reported Speech * e-Learning教材学習テスト2回目
第14回 ( July 23 )	Unit 13: Right and Wrong Expressions: Sharing Information / Showing Anger Grammar: Subject and Verb Agreement
第15回 ( July 30 )	Unit 14: Your Career Starts Now Expressions: Giving Encouragement / Discussing Possibility Grammar: Infinitives
第16回 ( Aug 6 )	定期試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009005	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (P1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Target students	P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tmatsumoto niu.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	0956-20-5532 (長崎国際大学人間社会学部国際観光学科)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は、授業中、授業の前後、もしくはEメール (tmatsumoto niu.ac.jp) にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	映画「ノットティングヒルの恋人」を用いて、映画のストーリーを楽しむ中で、英語の4技能をはじめ、語彙や話すための英文法を学び、様々な場面に応じた会話表現を学びます。具体的には、映画の中に出てくる重要単語や語句の意味を理解し、映画を視聴して、音読練習やロールプレイを行います。視聴後は、映画のセリフ・内容に関する意見を英語で書きます。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語を使用してのタスクを行うことができる。</li> <li>2. 英語を使用して、様々な考えを伝えることができる。</li> <li>3. 指示を出したり、従ったりすることができる。</li> <li>4. 様々な話題について議論をすることができる。</li> <li>5. 日常生活や将来の目標に関するトピックについて英語でコミュニケーションをとることができる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	成績評価は、定期試験 (30%)、授業時に出される宿題を含む課題の成績 (10%)、授業での質疑応答や会話練習などにおける積極的な取り組み (20%)、TOEIC-IP (20%)、e-learning教材学習テスト (20%) で行います。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前には、重要単語や語句の意味の確認を辞書を用いて行い、授業後には、音読練習をして、場面に則した英語を少しでも多く身に付けてください。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	映画総合教材『ノットティング・ヒルの恋人』新装版 / Richard Curtis 著 神谷久美子 / Kim R. Kanel 編著 松柏社 2,100円 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	授業前には、重要単語や語句の意味の確認を辞書を用いて行い、授業後には、音読練習をしておくこと。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻、欠席、途中退室などをせず、積極的に授業に参加することを期待します。</li> <li>・授業前には、重要単語や語句の意味の確認を予習として行い、授業後には、音読練習をしてください。</li> <li>・辞書（電子辞書可）を持参の上、授業に臨んでください。</li> </ul>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 授業内容と評価方法等の説明、アンケートの実施
第2回	Unit 1: William's Notting Hill & 'She', Vocabulary, Chunk Check, T/F Questions, Who said it? Comprehension / Discussion Questions, Listening
第3回	Unit 1: William's Notting Hill & 'She', Vocabulary, Chunk Check, T/F Questions, Who said it? Comprehension / Discussion Questions, Listening
第4回	Unit 2: Surreal, But Nice, Vocabulary, Chunk Check, T/F Questions, Who said it? Comprehension / Discussion Questions, Listening
第5回	e-learning教材学習テスト第1回目, Unit 3: A Goddess Is A Movie Star, Vocabulary, Chunk Check, T/F Questions, Who said it? Comprehension / Discussion Questions, Listening
第6回	Unit 3: A Goddess Is A Movie Star, Vocabulary, Chunk Check, T/F Questions, Who said it? Comprehension / Discussion Questions, Listening
第7回	Unit 4: Birthday Party, Vocabulary, Chunk Check, T/F Questions, Who said it? Comprehension / Discussion Questions, Listening
第8回	Unit 5: A Date With Anna, Vocabulary, Chunk Check, T/F Questions, Who said it? Comprehension / Discussion Questions, Listening
第9回	Unit 6: She's Gone, Vocabulary, Chunk Check, T/F Questions, Who said it? Comprehension / Discussion Questions, Listening
第10回	Unit 7: She's Back, Vocabulary, Chunk Check, T/F Questions, Who said it? Comprehension / Discussion Questions, Listening
第11回	Unit 8: Rude Awakening -Ain't No Sunshine, Vocabulary, Chunk Check, T/F Questions, Who said it? Comprehension / Discussion Questions, Listening
第12回	Unit 9: Like Me Again, Vocabulary, Chunk Check, T/F Questions, Who said it? Comprehension / Discussion Questions, Listening
第13回	e-learning教材学習テスト第2回目, Unit 10: The Right Decision - The Meaning of My Life Is She, Vocabulary, Chunk Check, T/F Questions, Who said it? Comprehension / Discussion Questions, Listening
第14回	Unit 10: The Right Decision - The Meaning of My Life Is She, Vocabulary, Chunk Check, T/F Questions, Who said it? Comprehension / Discussion Questions, Listening
第15回	Review, Unit1-10の総復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009006	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (P2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	terasan1123 outlook.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	terasan1123@outlook.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は授業中、授業の前後、もしくはEメールにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	既得の英語の知識を整理しながら、自己発信力を持つ実用的な英語への発展を図ります。そのための訓練型の学習法として、音読、オーバーラッピング、リピーティング、シャドーイング、サイトトランスレーションなどを学びます。また、自分のリスニング、スピーキングを分析し、学習者としてどういう傾向をもっているのか、また、どの段階にいるのかを知り、今後の学習の指標とします。アウトプットの機会が非常に多い授業です。		
授業到達目標/Course goals	<p>①実用英文法の理解 A問題を解くだけにとどまらず、実用英文法の知識をリスニングやスピーキングの中で活かすことができる。 Bスピーキングにおいて、定型表現の使用だけでなく、平易な単語を用いて自分が言いたいことを表現できる。 Cリスニングにおいて、明確で標準的な話し方である音声の意味内容を理解できる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	<p>TOEIC-IP : 20% e-learning教材学習テスト : 20% (1回目10%、2回目10%) 授業態度 : 10% 中間テスト : 20% 期末テスト : 30%</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習として、テキストの次回ユニットの問題を解きます。わからない単語は調べてください。事後学習としては、スモールトークで話をした内容を自分で練習してください。その際は、単語やフレーズの選択に気をつけるとよいでしょう。また、パッセージトレーニングの復習もリスニングの向上に効果的です。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Health Matters (金星堂) 初回授業日に販売しますので購入してください。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業への積極的な参加と予習を期待します。発表の機会が多いと考えてください。辞書は必携です。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1/ 4月9日	◎オリエンテーション(テキスト内容の説明、授業の進み方、中間・期末テストの説明、e-learning、TOEIC-IPテスト確認等) A英語学習に役立つツール、教材、書籍、サイトの紹介 Bテキストの予習のポイント、注意点などの説明を受けながら、テキストUnit 1に取り組みます。
2/ 4月16日	◎テキストUnit 1 (Why English?) 語彙問題、穴埋め問題、選択問題、タスク活動、ペアトークに取り組みます。選択問題においては、「何となく」ではなく、選択の根拠を答える必要があります。リスニングに関しては、CDを聞いたり、ペアのパートナーの読み上げる英文を聞くなど複数の様式で行います。スピーキングに関しては、ユニットのテーマに関連した質問が用意されていますので、ペアを組み、それについて自分の意見を簡単に述べます。最後に任意のペアが発表します。
3/ 4月23日	◎ウォームアップとしてスモールトークを行います。ペアを組み、与えられたトピックについて2分間会話をします。 AテキストUnit 2 (Sleep) 授業の様式はUnit 1と同様です。
4/ 5月7日	◎ウォームアップとしてスモールトークを行います。ペアを組み、与えられたトピックについて2分間会話をします。自分が使用した単語のうち名詞、動詞、形容詞を書き出して、自分の発信する単語の特徴を知ります。 AテキストUnit 3 (Allergies) 授業の様式はUnit 1と同様です。
5/ 5月14日	◎e-learning教材学習テスト1回目 Aスモールトークを行います。会話表現の参考資料を配りますので、その中から今回のトークで使いたいフレーズを決めます。ペアを組み、与えられたトピックについて、フレーズを意識しながら2分間会話をします。 B配布資料を使って、音読、早読み、オーバーラッピング、シャドーイングの学習法を学び、トレーニングを行います。
6/ 5月21日	◎ウォームアップとしてスモールトークを行います。会話表現の参考資料を配りますので、その中から今回のトークで使いたいフレーズを決めます。ペアを組み、与えられたトピックについて、フレーズを意識しながら2分間会話をします。 AテキストUnit 4 (Stress Management) 授業の様式はUnit 1と同様です。
7/ 5月28日	◎スモールトークを行います。会話表現の参考資料を配りますので、その中から今回のトークで使いたいフレーズを決めます。ペアを組み、与えられたトピックについて、フレーズを意識しながら2分間会話をします。 AテキストUnit 5 (Skin) 授業の様式はUnit 1と同様です。 B中間テスト範囲と既習内容の確認をします。
8/ 6月4日	◎中間テスト(60分) Unit 1~Unit 5 A配布資料を使って、リピーティング、サイトトランスレーションの学習法を学び、トレーニングを行います。
9/ 6月11日	◎ウォームアップとして、100字程度のパッセージを使って、リスニング、サイトトランスレーション、オーバーラッピング、シャドーイングを行います。 AテキストUnit 6 (Sports Injuries) 授業の様式はUnit 1と同様です。
10/ 6月18日	◎ウォームアップとして、100字程度のパッセージを使って、リスニング、サイトトランスレーション、オーバーラッピング、シャドーイングを行います。 AテキストReview Unit (1-6)を試験形式で行った後、答え合わせを行います。
11/ 6月25日	◎ウォームアップとして、100字程度のパッセージを使って、リスニング、サイトトランスレーション、オーバーラッピング、シャドーイングを行います。 AテキストUnit 7 (Personalities) 授業の様式はUnit 1と同様です。
12/ 7月2日	◎ウォームアップとして、100字程度のパッセージを使って、リスニング、サイトトランスレーション、オーバーラッピング、シャドーイングを行います。 AテキストUnit 8 (Nutrition) 授業の様式はUnit 1と同様です。
13/ 7月9日	◎e-learning教材学習テスト2回目 A配布資料を使用して、ディクテーションを行い、自分のリスニングの傾向を分析します。
14/ 7月17日	◎配布資料を使用して、ディクテーションを行い、自分のリスニングの傾向を分析します。 AテキストUnit 9 (Aromatherapy) 授業の様式はUnit 1と同様です。
15/ 7月23日	◎テキストUnit 10 (Aging) 授業の様式はUnit 1と同様です。 A期末テスト範囲と既習内容の確認をします。
16/ 7月30日	期末テスト(60分) テキストUnit 6~Unit 10の既習内容が対象です。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009007	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Target students	F2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inage nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部 6F 619 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 16:10?17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	これまでの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	期末試験(60%)、TOEIC-IP(20%)、e-learning教材学習テスト(20%)を基準に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回、教科書の1Unitをカバーしていく予定ですので、しっかりとした予習をしておくこと。また、毎回、前時の復習として、英語の重要表現についての小テストを実施する予定ですので、適宜、授業後に整理をしておいてください。		
キーワード / Key word	英語の4技能、総合的英語技能訓練		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Intermediate Skills for Reading 成美堂		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	教科書の予習にしっかり取り組んでください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Unit 1 Formal Letter Writing: A Dying Art Scanninggのスキルについて
第2回	Unit 2 U.S. Teens: Reading is Interesting Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)
第3回	Unit 3 How Old Is Old Enough Skimming for the Main Idea
第4回	Unit 4 The History of Hollywood Recognizing Sequence of Events
第5回	Unit 5 Numbers and Beliefs Identifying Main Ideas within Paragraphs (1)
第6回	e-Learning 教材学習テスト @ Unit 6 The History of Chocolate Predicting のスキル 及び
第7回	Unit 7 Breakfast Like a King Inferring のスキル
第8回	Unit 8 Oh, No --- Not Another Test! Identifying Main and Supporting Ideas
第9回	Unit 9 FAQs about Recycling Understanding Main Ideas (Gist)
第10回	Unit 10 Time for Work, Time for Play Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2)
第11回	Unit 11 Netiquette --- Internet Dos and Don'ts Developing Reading Fluency (1)
第12回	Unit 12 Have You Read Any Good Books Lately? Developing Reading Fluency (2)
第13回	Unit 13 Life Expectations Developeing Reading Fluency (3)
第14回	e-Learning 教材学習テスト A Unit 14 The Oscar Goes to ... Willie Fulgear! Developing Reading Fluency (4)
第15回	Unit 15 Unmerology---Using Numbers to Predict the Future
第16回	授業のまとめ 定期試験実施

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009008	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Target students	F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hamasaki_wesleyan.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、必ず事務を通して連絡してください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 授業にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	特にReadingに関してバランスの取れたスキルアップを目指します。 中学・高校で学んできた受験英語から脱して、日本語訳、英語訳に対する対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。		
授業到達目標/Course goals	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。 また、長崎大学があげる全学共通の6つのディプロマポリシーを段階的に習得できるよう、基礎作りを行う。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	Class Participation: 15% TOEIC-IP 20% 課外学習のe-learning 20% (e-learning 教材学習テスト 1回目10%、2回目10%) Final Examination 45%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 次回のUnitで未習熟の単語を確認、内容の把握(持てる力の範囲で) 事後学習: 学んだUnit内での新情報の確認、内容の確認と解説されたものの理解程度を確認  事前学習は自分が持っているスキルや知識の確認です。「知っていること」、「知らないこと」を仕分けしておき、講義で「知らないこと」を理解できるように準備すること。講義時間を有意義なものにするための準備が事前学習です。		
キーワード / Key word	スキミング、スキミング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング 脱受験英語		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Message to Our Future 金星堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。 無断遅刻・欠席が1/3以上になった時点でClass Participationは、0%とさせていただきます。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	TOEIC - IP、e-learningテスト詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。再履修を申し出る学生は、必ず1回目の講義を受講して下さい。授業の注意点や、e-learningに関する情報など、単位に関わる大切な情報をお伝えする重要な講義になっております。 授業開始2回目以降に再履修を申し出る学生は、1回目の講義を受けなかった理由を明確にお伝えください。理由によっては、再履修受け入れを拒否させていただく場合があります。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月10日	Introduction 合理的な思考と分析について
第2回 17日	Unit 1 Mt. Everest Trash Turned Into Other Men's Treasure
第3回 24日	Unit 2 Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans
第4回 5月1日	Unit 3 Zambian Children Get Their Education Over the Radio
第5回 8日	Unit 4 Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee
第6回 15日	Unit 5 U.N. Member States Urged to Observe Olympic Truce 1回目e-learning 教材学習テスト
第7回 22日	Unit 6 Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace
第8回 29日	Unit 7 Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work
第9回 6月5日	Unit 8 Aceh Students Join Tsunami Recovery Efforts
第10回 12日	Unit 9 Palestinian Rappers Fight Occupation with Music, Not Bombs
第11回 19日	Unit 10 Beijing Suggests Rooftop Lawns
第12回 26日	Unit 11 Start of School Year Signals Progress for Afghanistan
第13回 7月3日	Unit 12 Tiny Chilean Clarinet Maker Crafts World's Best
第14回 10日	Unit 13 U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon 2回目 e-learning 教材学習テスト
第15回	Unit14 振り返り、学期末試験に対する注意事項
第16回	Final Examination 7月31日、8月7日のどちらかの日程を予定



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009009	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Target students	教育学部 L 2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	iked_a_shiga@yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 4時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	映画や音楽などの情報に関する時事ニュースを用いて、興味深い内容の英文を通して、英米の文化に対する関心をさらに高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、書く・話すための英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。テキストの練習問題を通して、英語の4技能の総合的な向上を目指す。		
授業到達目標/Course goals	英米の文化に対して関心を持ち、考えを深めることができる。書いたり話するための表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養い、さらに向上させる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基礎を養成し、確かなものに行うことができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験の成績を50%、e-learning教材学習テストの結果を40%、小テストを10%を基準とします。また、受講中の態度や活動を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回必ず英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて、授業に臨みましょう。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点が残らないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード/Key word	リーディング/リスニング/スピーキング/英米の文化/VOAニュース/ディクテーション/音読/シャドーイング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『World Celebrities VOA Arts and Entertainment』(津田晶子他: 英宝社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	授業には全回出席することを期待します。毎回必ず予習をしてCDを聴いてから臨みましょう。発音を伴う学習の際は、積極的に参加してください。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意をつかんでおきます。目標を定めて、たゆまぬ努力をしましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月10日	導入・授業内容の説明
第2回 4月17日	Unit 1 " Zoolander 2, " Affleck, De Niro Earn Razzie " Worst " Film Nods
第3回 4月24日	Unit 2 " Curious George " Explores Ramada
第4回 5月1日	Unit 3 Lady Gaga, Travolta Help Celebrate Tony Bennett's 90 Birthday
第5回 5月8日	Unit 5 Tom Hanks Surprised Bride and Groom
第6回 5月15日	【第1回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 6 Jackie Chan: Hollywood Competition Means Better Chinese Films
第7回 5月22日	Unit 7 Study: Beauty in Eye of the Beholder
第8回 5月29日	Unit 8 After 28-Year-Journey, Scorsese's Faith Movie " Silence " Arrives
第9回 6月5日	Unit 9 500,000 Estimated at Rolling Stones Cuba Concert
第10回 6月12日	Unit 10 Matt Damon Takes to Davos Stage to Put Water on Map
第11回 6月19日	Unit 11 Dr. Seuss Honored on World Book Day
第12回 6月26日	Unit 12 " Jackie " Paints Mystery of First Lady After Assassination
第13回 7月3日	Unit 13 Dicaprio Ivory Trade Film Edges Ex-Kremlin Aide's Bid for Oscar Consideration
第14回 7月10日	【第2回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 15 New " Star Trek " Movie Out as Series Celebrates 50 years
第15回 7月24日	Unit 14 What Viola Davis' Win Means for Hollywood, Fans
第16回 8月7日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009010	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kmat nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	教育学部本館617号室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に読み(精読), 早く読み解くこと(速読)ができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し, 英語による表現(英作文・英会話)にも応用できる。		
授業到達目標 / Course goals	TOEICの読解力問題で70% ~ 80%くらいの正解を得ることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	(1) 授業内容に関する確認テスト第1回 ~ 3回の成績 60% (2) e-learning教材学習テスト 20% (この点に関しては第1回目の授業時に説明する) (3) TOEIC -IP 20% 「便覧」にあるとおり, 授業総回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を認めない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	読解力(精読・速読), 表現力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	James Kirkup, Tales of Mystery and Magic. 音羽書房鶴見書店.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	学生便覧を参照。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業時には毎回英和辞書を(可能ならば英英辞書も)持参すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方, 評価の説明, 教科書の説明, 単元Netherlandic Tale, "The Three Wishes" (1)		
第2回	"The Three Wishes" (2)		
第3回	"The three Wishes" (3), リスニング練習		
第4回	"The Three Wishes" (4)		

第5回	授業確認テスト第1回, リスニング練習
第6回	e-Learning教材学習テスト1回目 German Tale, "The Imp in the Bottle" (1)
第7回	"The Imp in the Bottle" (2)
第8回	"The Imp in the Bottle" (3), リスニング練習
第9回	"The Imp in the Bottle" (4)
第10回	授業確認テスト第2回, リスニング練習
第11回	Welsh Tale, "The Lady from the Sea" (1)
第12回	"The Lady from the Sea" (2), リスニング練習
第13回	"The Lady from the Sea" (3)
第14回	e-Learning教材学習テスト2回目 "The Lady from the Sea" (4)
第15回	"The Lady from the Sea" (5)
第16回	確認テスト第3回 (期末テスト), リスニング練習

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009011	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Target students	(M1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月4 水4 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。Business English の教材から、医学に関する話題を選び、リスニングやスピーキングの訓練をします。		
授業到達目標/Course goals	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある60のKey Sentenceが書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が、スラスラ言えるようにします。またe-learning教材パワーワーズとリスニング教材3 Stepの指定した範囲や時間をクリアしてもらいます。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	成績評価は、定期試験40%、授業中の発表、プレゼン10%、e-learning教材学習テスト20%、TOEIC-IPの成績20%小テスト10%で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回課せられる範囲の学習。ほぼ毎回行われる小テストのための学習。		
キーワード / Key word	スキミング、スキミング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,900円		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業の詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) Business English Flu (1) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit1-5
第2回	Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) Business English Flu (2) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit 6-10
第3回	Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) Business English Flu(3) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 小テスト
第4回	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) Business English Flu(4) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit11-15
第5回	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) Business English Flu (5) Power Words Level 5 Unit 16-20 Power Words 小テスト
第6回	e-learning教材学習テスト第1回目 3 Step CALLの教材(New York Live)
第7回	Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) Business English Flu 復習 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit 21-25
第8回	Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) Business English Good Posture (1) 3 Step CALL(New York Live) Power Words Level Unit 5 26-30 Power Words Level 5 小テスト
第9回	Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) Business English Good Posture (2) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit 31-35
第10回	Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) Business English Good Posture (3) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit 5 36-40 Power Words Level 5 小テスト
第11回	Unit 9 The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy Business English Good Posture (4) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit 41-45
第12回	Unit 10 The Dutch Steamship Company Business English Good Posture (5) Power Words Level 5 Unit 46-50
第13回	Unit 11 The Dutch Steamship Company Business English Good Posture 復習 Power Words Level 5 小テスト
第14回	e-learning教材学習テスト第2 回目 Unit 12 The Dutch Steamship Company
第15回	Unit 12 The Dutch Steamship Company Business English Flu , Good Posture 総復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009012	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students	M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00? (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語)?必要最低限の英語 (及び米語)?を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	<p>①英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>A習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>B習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>C各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。</p> <p>D英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>E日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>F異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、TOEIC-IP20%、e-Learning教材学習テスト20% (1回目10%+2回目10%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード / Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ / Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』?分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-Learning教材学習テスト(1回目)、連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+t/と/n/+d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化 ①)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化 A)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	Greetings Clinical Hints ( Wh Questions )
第12回	Abdominal Pain ( Possible disease : acute gastritis ) Physical Examination of the Abdomen/Endoscopy
第13回	Cough, Fever, and Headache ( Possible disease : acute bronchitis ) Physical Examination of the Chest and Back
第14回	e-Learning教材学習テスト(2回目) Chest Pain ( Possible disease : angina pectoris ) Vital Signs and ECG
第15回	Problem Found at the Medical Checkup ( Possible disease : diabetes ) Urine Test and Blood Test まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に医療英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009013	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化] 総合教育研究棟 3F パソコン室		
対象学生 (クラス等) / Target students	医学 (M3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	文教キャンパス共用校舎 2 1階 (総合体育館裏)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	リーディングの基礎について学習し、内容を把握する練習を行い、その内容に関連するactivityをペアやグループで行い、presentationの練習も行なう。		
授業到達目標/Course goals	Reading力とListening力を伸ばすこと。トピックに関連するactivityをグループやペアで行うことにより、能動的に学び、また自分の考えを英語で表現できるようになることを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業参加態度・project積極的参加度: 20% E-learning教材学習テスト: 20%, TOEIC IP: 20%, Presentation: 5%, Report 5%, 期末テスト: 30% (注意) 5回以上欠席した場合 (公欠は除く) は単位修得ができない。欠席1回-3点、遅刻1回-1点 : 開始 20分後まで入室は遅刻、それ以降の入室は欠席とみなす		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業外でもTEDビデオサイトへ入って、ビデオを何度も視聴すること。授業後の復習を行なうこと。		
キーワード / Key word	リーディングスキル, Logical Reasoning, TED Talk		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	21st Century Reading by Robin Longshaw & Laurie Blass, CENGAGE Learning		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	<a href="http://ngl.cengage.com/21centuryreading/resources/student/book-1">http://ngl.cengage.com/21centuryreading/resources/student/book-1</a> (Videoサイト)		
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1	Orientation, Unit 1 Life Changes		

2	Unit 1. Life Changes
3	Unit 1. Life Changes
4	Unit 2. Team Power
5	Unit 2. Team Power
6	Unit 3 Ocean Wonders / e-Learning教材学習テスト1回目
7	Unit 3 Ocean Wonders
8	Unit 3 Ocean Wonders /Unit 4 What We Wear
9	Unit 4 What We Wear
10	Unit 4 What We Wear/ Unit 5 Moments and Memories
11	Unit 5 Moments and Memories / Show + FeedbackのためのphotoをLacsへ送る
12	Unit 5 Presentation (Show + Feedback)
13	Unit 6 Building Solutions
14	Unit 6 Building Solutions /e-Learning教材学習テスト2回目
15	Unit 6 Building Solutions / 復習
16	Term Examination : Vocabulary と内容理解

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009014	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Target students	医学部 M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikedashiya@yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	世界の様々な優れた文学作品や、個性豊かな人々によって著された名作について、書かれた英文を熟読し、人類の優れた知恵や思想を学ぶ。科学技術の急激な発達の中にある今こそ、改めて人類の叡智に触れることにより、教養を高め、自己を磨く一助とする。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来医療従事者を目指す学生の皆さんには重要且つ必要不可欠です。英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。		
授業到達目標/Course goals	世界の様々な人物や出来事に関する関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。英文は古典の名文であり、高度なレベルのものが多く、さらなる読解力を養うことができる。テキストのExcerciseにより、リスニングとスピーキングの能力を伸ばすことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、TOEIC-IP2 0%、e-learning教材学習テスト 20%、小テスト 10%を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、問題を解いて授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード / Key word	古典によるリーディング・スキルの向上 / 優れた文学作品 / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める / 人文科学 / 自然科学 / 思想 / 映画		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『A Look at Love in Fiction 愛のテーマで英語を学ぶ』(Fiona Wall Minami / 本山ふじ子: 朝日出版社) 音声教材は、無料でダウンロードできます。http://text.asahipress.com/free/english 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月11日	導入・授業内容の説明
第2回 4月18日	Chapter 1 Twilight
第3回 4月25日	Chapter 2 Romeo & Juliet
第4回 5月2日	Chapter 3 Gone with the Wind
第5回 5月9日	Chapter 4 Brokeback Mountain
第6回 5月16日	【第1回 e-learning 教材学習テスト】 Chapter 5 The Remains of the Day
第7回 5月23日	Chapter 6 Pride & Prejudice
第8回 5月30日	Chapter 7 Jane Eyre
第9回 6月6日	Chapter 8 Sons & Lovers
第10回 6月13日	Chapter 9 The Portrait of a Lady
第11回 6月20日	Chapter 10 The Great Gatsby
第12回 6月27日	Chapter 11 Love Story
第13回 7月4日	Chapter 12 The Time Traveler's Wife
第14回 7月11日	【第2回 e-learning 教材学習テスト】 Chapter 13 The Namesake
第15回 7月18日	Chapter 14 The Rosie Project
第16回 8月1日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009015	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷川 晋一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化] 総合教育研究棟 3F 32番講義室		
対象学生 (クラス等) / Target students	多文化社会学部1年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	総合研究棟10階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	英語4技能を学術的場面において活用する基礎的な訓練を行い、TOEFLを中心とした検定試験や英語での講義に対応できるような総合的な英語力を養成する。実際の検定試験や英語の講義で用いられる題材を用いて、情報を適確に理解し、効果的に読み手・聞き手に伝える方策について学習を行う。そして、それらを書きや発表に応用し、自分の意見や主張を英語で発信する訓練も行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験や講義等の学術的場面で用いられる語彙や表現を着実に身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。</li> <li>・文章構成やディスカッション、プレゼンテーションの基礎を正しく身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。</li> <li>・自分自身の意見や主張を論理的にまとめ、他者に向けて正確に発信できるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	e-learning教材学習テスト: 20% TOEFL-ITPスコア: 20% 日頃の学習状況: 40% 中間・期末課題: 20% 日頃の学習状況には、小テストのスコア、課題の提出状況、eラーニングの進捗状況、授業参加態度が含まれます。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書等は使用せず、プリント等の配布資料を用いる。参考書等は、講義中に提示する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、就学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮の提供に取り組んでいる。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) に相談すること。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	原則として、全回出席をしなければ単位は成立しない。また、この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に、成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に、点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 4/11	オリエンテーション & 準備学習
第2回: 4/18	配布資料1
第3回: 4/25	配布資料2
第4回: 5/2	配布資料3
第5回: 5/9	配布資料4
第6回: 5/16	e-learning教材学習テスト (1) & 配布資料5
第7回: 5/23	配布資料6
第8回: 5/30	中間課題
第9回: 6/6	配布資料7
第10回: 6/13	配布資料8
第11回: 6/20	配布資料9
第12回: 6/27	配布資料10
第13回: 7/4	配布資料11
第14回: 7/11	e-learning教材学習テスト (2) & 配布資料12
第15回: 7/18	期末課題

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009016	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Target students	T1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 4時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります		
授業到達目標/Course goals	自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。TOEICリーディング問題に慣れ、ポキャブラリーを習得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験50%、TOEIC-IP20%、e-Learning教材学習テスト2回20%、speaking test 10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	ポキャブラリーを覚えること。また、スピーチを作り、何回か練習する		
キーワード / Key word	リピーティング、リーディング、音読		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection、TOEIC TEST リーディングスピードマスター-New Edition (成重寿、Jリサーチ出版)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英語でのスピーチやリーディングを楽しみましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

1回	オリエンテーション 教科書Unit 1 読解問題の流れと問題の特徴 Workbook 1
2回	教科書Unit 1 読解問題の流れと問題の特徴 Workbook 1
3回	教科書Unit 2 解き方の基本 Workbook 2
4回	教科書Unit 2 解き方の基本 Workbook 2
5回	教科書Unit 3 8種類の設問の対策 Workbook 3
6回	e-Learning教材学習テスト1回目 教科書Unit 3 8種類の設問の対策 Workbook 3
7回	教科書Unit 4 問題文の種類 Workbook 4
8回	教科書Unit 4 問題文の種類 Workbook 4
9回	教科書Unit 5 表現の言い換え Workbook 5
10回	教科書Unit 5 表現の言い換え Workbook 5
11回	教科書Unit 6 タイムマネジメント Workbook 6
12回	教科書Unit 6 タイムマネジメント Workbook 6 スピーキングテスト
13回	教科書Unit 7 速読テクニック Workbook 7
14回	e-Learning教材学習テスト2回目 教科書Unit 7 速読テクニック Workbook 7
15回	教科書Unit 8 問題練習 Workbook 8
16回	期末試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009017	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Target students	T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	様々な場面設定でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。インターネット、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Course goals	1. 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験40%、ペアでの会話発表10%、積極的な授業への参加状況10%、E-Learning教材学習テスト20%、TOEIC-IP20% (60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	テキストには音声が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	静哲人、望月正道、熊澤孝昭 『4技能統合型で学ぶ英語コース: 準中級編』 (金星堂, 2018年)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可))。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回 (4月11日)	オリエンテーション
2回 (4月18日)	Cross-Cultural Understanding(1)
3回 (4月25日)	Cross-Cultural Understanding(2)/ Foods(1)
4回 (5月2日)	Foods(2) / Foreign Language Learning(1)
5回 (5月9日)	Foreign Language Learning(2) / Sports(1)
6回 (5月16日)	E-Learning教材学習テスト1回目 / Sports(2)
7回 (5月23日)	Fashion(1) / 英字新聞を読む
8回 (5月30日)	Fashion(2) / Living Things(1)
9回 (6月6日)	Living Things(2) / Art(1)
10回 (6月13日)	Art(2) / Global Issues(1)
11回 (6月20日)	Global Issues(2) / Japanese Culture(1)
12回 (6月27日)	Japanese Culture(2)
13回 (7月4日)	ペア発表
14回 (7月11日)	E-Learning教材学習テスト2回目 / Human Rights(1)
15回 (7月18日)	Human Rights(2) / リーディング・リスニングのポイント確認
16回 (7月25日)	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009018	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Target students	T3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00? (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語)?必要最低限の英語(及び米語)?を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	<p>①英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>A習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>B習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>C各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。</p> <p>D英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>E日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>F異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、TOEIC-IP20%、e-Learning教材学習テスト20%(1回目10%+2回目10%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード / Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材)		

受講要件（履修条件）/Prerequisites, etc.	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動（積極的かつ自発的な発言等）が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか） / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』?分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-Learning教材学習テスト（1回目）、連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+t/と/n/+d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化 ①）
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化 A）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響）
第11回	On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	At an Airport(1)
第14回	e-Learning教材学習テスト（2回目）、At an Airport(2)
第15回	Taking a taxi、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進捗設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009019	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T9) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Target students	工学部 T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikeda_shiga yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。練習問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。ロンドン旅行での英語表現を通して、ダイアログの背景や、英国とその文化に対する理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。		
授業到達目標/Course goals	基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。日常会話を通して、ダイアログの背景や、イギリスの文化に対する理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、TOEIC-IP2 20%、e-learning教材学習テスト 20%、小テスト10%を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。  また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて授業に臨むこと。 DVDを必ず自宅で見てください。 授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。 小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード / Key word	イギリス英語 / イギリスはロンドンでの旅行における様々な状況の中での英会話のダイアログ / 有用な英語表現とその応用 / 多彩なトピックス / 豊富な練習問題 / 有用な映像と音声教材		

教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	London Alive 『さあ行こう London!』 ( Paul Snowden / Emily Kyoko Snowden: 朝日出版社 ) ( DVD付き ) 音声教材は、 <a href="http://text.asahipress.com/free/english">http://text.asahipress.com/free/english</a> から、無料でダウンロードしておきましょう。 英和辞典 ( 電子辞書 ) を必携すること。
受講要件 ( 履修条件 ) /Prerequisites, etc.	授業には全回出席しましょう。授業では、英語表現を覚えながら話す練習を、時間のある限り力を入れて行います。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んでください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 ( 上記連絡先参照 ) または「アシスト広場」 ( 障がい学生支援室 ) にご相談下さい。 アシスト広場 ( 障がい学生支援室 ) 連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 ( URL ) /Remarks(URL)	授業中は、とにかく発声練習を徹底しますので、映像を初めて見る時間などありません。必ず事前の自宅学習で、DVDを見て問題を解き、ダウンロードした音声教材を何度も聴いておきましょう。 クラスに出て初めてテキストや音声に触れるようなことがないようにしてください。
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に臨んでください。必ず予め英単語の意味を調べ、問題を解いておきましょう。毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回 4 月 1 1 日	導入・授業内容の説明
第 2 回 4 月 1 8 日	Unit 1 Arriving at the Hotel
第 3 回 4 月 2 5 日	Unit 2 A Taxi Ride
第 4 回 5 月 2 日	Unit 3 Shakespeare's Globe Theatre
第 5 回 5 月 9 日	Unit 4 A Cruise on the River Thames
第 6 回 5 月 1 6 日	【第 1 回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 5 Hungerford Bridge
第 7 回 5 月 2 3 日	Unit 6 The Imperial War Museum Unit 7 The London Tube
第 8 回 5 月 3 0 日	Unit 7 The London Tube Unit 8 At the Shops
第 9 回 6 月 6 日	Unit 9 At Sally's Flat
第 1 0 回 6 月 1 3 日	Unit 10 Car Hire
第 1 1 回 6 月 2 0 日	Unit 11 At a London Pub
第 1 2 回 6 月 2 7 日	Unit 12 Finding the Way
第 1 3 回 7 月 4 日	Unit 13 Trafalgar Square
第 1 4 回 7 月 1 1 日	【第 2 回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 14 Cycle Hire
第 1 5 回 7 月 1 8 日	Unit 15 Time to Leave
第 1 6 回 8 月 1 日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009020	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー / Office hours	E-mail で受け付けます。r_otsubo hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	この授業はヨーロッパ、中東、アフリカなどの地理、歴史、そしてそれぞれの地域が抱える問題について触れた英文を読む、読解を中心とした授業です。また、各トピックに関連した会話文音声を読み、リスニング力も養成していきます。		
授業到達目標 / Course goals	1. 地球環境と社会の多様性が理解できるようになる。 2. テキストで扱う地域の抱える問題を多角的視点からとらえることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業への取り組み・復習テスト20% + TOEIC IP 20% + e-Learning 教材学習テスト20% + 定期試験40% = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前にテキストで扱うトピックについてインターネットや書籍を用い、テキスト内に出てくる専門用語について調べておいて下さい。また、翌週に復習テストを行うのでしっかり復習しておいて下さい。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	CLILL 英語と地図で学ぶ世界事情 Seeing the World through Maps 三修社 ¥1,800 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は全回、予習をして臨んで下さい。 授業参加について Introduction で説明をしますので必ず1回目の授業に出席して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	教科書販売・Introduction		
2回目	Sweets and the House of Habsburg The European Union		
3回目	復習テスト The Masai Mara National Reserve Souvenir Shopping in Africa		

4回目	復習テスト Holy Places Strategic Seaway
5回目	復習テスト Mumbai and Jaipur Afghanistan
6回目	e-Learning 教材学習テスト1回目 St. Petersburg and Peter the Great
7回目	復習テスト Super Sky Railway to Inner Highland The Two Different Faces of Korea
8回目	復習テスト A Country of Cultural Diversity Religious Diversity
9回目	復習テスト Country of Immigrants The American Dream
10回目	復習テスト The Panama Canal Revolution and Socialism
11回目	復習テスト Rio de Janeiro Japanese Immigrants
12回目	復習テスト The Last Unknown Place on the Earth What is the Antarctic like?
13回目	復習テスト A Continent of Modern Cities and Unique Nature Animals and Plants Unique to Australia and New Zealand
14回目	e-Learning 教材学習テスト2回目 Ukraine: Caught between Russia and Europe
15回目	復習テスト Japan
16回目	定期試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009021	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Target students	(G2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月4 水4 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。Business English の教材から、国際理解に関する話題を選び、リスニングやスピーキングの訓練をします。		
授業到達目標/Course goals	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある60のKey Sentenceが書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が、スラスラ言えるようにします。またe-learning教材パワーワーズとリスニング教材3 Stepの指定した範囲や時間をクリアしてもらいます。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	成績評価は、定期試験40%、授業中の発表、プレゼン10%、e-learning教材学習テスト20%、TOEFL ITPの成績20%、小テスト10%で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回課せられる範囲の学習。 ほぼ毎回行われる小テストのための学習。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,900円		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業の詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) Business English Bilingual (1) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit1-5
第2回	Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) Business English Bilingual (2) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit 6-10
第3回	Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) Business English Bilingual (3) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 小テスト
第4回	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) Business English Bilingual (4) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit11-15
第5回	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) Business English Bilingual (5) Power Words Level 5 Unit 16-20 Power Words 小テスト
第6回	e-learning教材学習テスト第1回目 3 Step CALLの教材(New York Live)
第7回	Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) Business English Bilingual 復習 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit 21-25
第8回	Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) Business English Conversational Skills (1) 3 Step CALL(New York Live) Power Words Level Unit 5 26-30 Power Words Level 5 小テスト
第9回	Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) Business English Conversational Skills (2) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit 31-35
第10回	Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) Business English Conversational Skills (3) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit 5 36-40 Power Words Level 5 小テスト
第11回	Unit 9 The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy Business English Conversational Skills (4) 3 Step CALLの教材(New York Live) Power Words Level 5 Unit 41-45
第12回	Unit 10 The Dutch Steamship Company Business English Conversational Skills (5) Power Words Level 5 Unit 46-50
第13回	Unit 11 The Dutch Steamship Company Business English Conversational Skills 復習 Power Words Level 5 小テスト
第14回	e-learning教材学習テスト第2 回目 Unit 12 The Dutch Steamship Company
第15回	Unit 12 The Dutch Steamship Company Business English Bilingual , Conversational Skills 総復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009022	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化] 総合教育研究棟 3F パソコン室		
対象学生 (クラス等) / Target students	(G3のみ)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	言語教育研究センター110		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日13:00以降 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語にふれる。		
授業到達目標/Course goals	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、動詞の中核イメージを理解し、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	評価は、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3StepとPOWER WORDSを用いてのe-Learning学習は、2回のテスト(5月14日?18日:7月9日?13日)でもって評価する。 Power Wordsの小テストは、e-learning学習の小テストに組み込まれます。また、TOEFL-ITPが実施されますが、20%として評価に組み込まれます。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回取り上げる動詞の基本イメージを理解するアプリを通して、英文をアウトプットできるように練習すること。		
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Better Health for Every Day (金星堂)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	毎回、復習を行うこと。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明
第2回	第2回 速読(phrase reading)とペアワーク(1), Fuel your body and mind.
第3回	第3回 速読(phrase reading)とLaughing will save you from going crazy.
第4回	第4回 速読(phrase reading)とペアワーク(2), The French Paradox
第5回	第5回 速読(phrase reading) Don't stay away from natto.
第6回	第6回 Turn-taking (1), Is snoring a bad sign?
第7回	第7回 速読(phrase reading)とペアワーク(3), Turn-taking (2)
第8回	第8回 速読(phrase reading)と,Getting a good night sleep is a challenge.
第9回	第9回 速読(phrase reading)とペアワーク(4), Current Issues
第10回	第10回 速読(phrase reading)とペアワーク(5),, Chocolate and its magical power.
第11回	第11回 速読(phrase reading)とペアワーク(6), Processed Food.
第12回	第12回 速読(phrase reading)とEnvironment Health Threats.
第13回	第13回 Information gap practice (pair work (7)
第14回	第14回 ELTS Writing入門
第15回	速読(6)とsummarizing まとめ

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009023	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 典生 / Norio Nakamura		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nkn nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	515		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	英語の技能、特にリスニングの技能を高めるための授業である。リスニング力は4技能のうち最も基本となる技能であり、この技能が伸長することで他技能への良い波及効果も期待できる。受講者は各自のリスニング力伸長を目指し、音声・映像教材を用いて、シャドウイングを採り入れた学習を行う。		
授業到達目標/Course goals	1. シャドウイングの理論と実践を理解して、自ら学習することができる 2. 開講時よりも高い英語リスニング力を習得する		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業中の課題に対する取組20%。リスニングテストによる到達度、伸長度40%。TOEIC-IP 20%、e-learning教材学習テスト (3step, Power Words) 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	4技能、聴解力、シャドウイング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習は積み重ねが大事であるので、無断欠席、遅刻は厳禁。特に2回行うリスニングテストを欠席した学生は、成績を出すための資料がそろわないため、基本的には成績が出せないことになるので注意されたい。 知識伝達型の授業ではないので、毎回自ら積極的に授業に臨むこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	Orientation
第 2 回	Listening pre-test
第 3 回	Getting Information
第 4 回	Checking in a hotel
第 5 回	Asking for directions
第 6 回	Renting a car e-learning教材学習テスト1回目
第 7 回	Shadowing Test 1
第 8 回	Ordering a meal
第 9 回	Shopping for clothes
第 1 0 回	Asking for a favor
第 1 1 回	Meeting a friend
第 1 2 回	Stress-timed rhythm
第 1 3 回	Checking out of a hotel
第 1 4 回	Expressing a preference e-Learning教材学習テスト2回目
第 1 5 回	Shadowing Test 2
第 1 6 回	Listening post-test

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009024	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Target students	E2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	様々な場面設定でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。インターネット、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Course goals	1. 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験40%、ペアでの会話発表10%、積極的な授業への参加状況10%、E-Learning教材学習テスト20%、TOEIC-IP20% (60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	テキストには音声が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	静哲人、望月正道、熊澤孝昭 『4技能統合型で学ぶ英語コース: 準中級編』 (金星堂, 2018年)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可))。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回 (4月11日)	オリエンテーション
2回 (4月18日)	Cross-Cultural Understanding(1)
3回 (4月25日)	Cross-Cultural Understanding(2) / Foods(1)
4回 (5月2日)	Foods(2) / Foreign Language Learning(1)
5回 (5月9日)	Foreign Language Learning(2) / Sports(1)
6回 (5月16日)	e-Learning教材学習テスト1回目 / Sports(2)
7回 (5月23日)	Fashion (1) / 英字新聞を読む
8回 (5月30日)	Fashion(2) / Living Things(1)
9回 (6月6日)	Living Things(2) / Art(1)
10回 (6月13日)	Art(2) / Global Issues(1)
11回 (6月20日)	Global Issues(2) / Japanese Culture(1)
12回 (6月27日)	Japanese Culture(2)
13回 (7月4日)	ペア発表
14回 (7月11日)	e-Learning教材学習テスト2回目 / Human Rights(1)
15回 (7月18日)	Human Rights(2) / リスニング・リーディングのポイント確認
16回 (7月25日)	定期試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009025	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students	E3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控え室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ねらい: 簡単な英語で書かれたテキストを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、英文の理解を深めます。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標/Course goals	到達目標: 大学入学時まで培われてきた総合的な学力を前提に辞書なしでもテキストの英語を読めるようになることを目指します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験60% TOEIC-IP 20% e-Learning教材学習テスト20% (1回目10% + 2回目10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。		
キーワード / Key word	1400語の語彙で書かれたテキスト 英語史		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	The History of the English Language (Oxford Univ. Press) 第1回目の授業で教室にて販売します。 プリント		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	定期試験の受講資格は規定による。教科書は必ず購入すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	A world language		
第3回	The beginnings of English		
第4回	Old English		
第5回	The Normans in England		

第6回	e-Learning教材学習テスト1回目
第7回	Middle English
第8回	Modern English begins
第9回	Bringing order to English
第10回	Modern English grows
第11回	English in the US
第12回	All kinds of English
第13回	Jargon and slang
第14回	e-Learning 教材学習テスト2回目
第15回	The Future of English

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009026	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T10) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜4時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります		
授業到達目標/Course goals	自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。TOEICリーディング問題に慣れ、ポキャブラリーを習得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験50%、TOEIC IP20%、e-Learning教材学習テスト20%、speaking test 10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	ポキャブラリーを覚えること。また、スピーチを作り、何回か練習する		
キーワード / Key word	リピーティング、リーディング、音読		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection、TOEIC TEST リーディングスピードマスター-New Edition (成重寿、Jリサーチ出版)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英語でのスピーチやリーディングを楽しみましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

1回	オリエンテーション 教科書Unit 1 読解問題の流れと問題の特徴 Workbook 1
2回	教科書Unit 1 読解問題の流れと問題の特徴 Workbook 1
3回	教科書Unit 2 解き方の基本 Workbook 2
4回	教科書Unit 2 解き方の基本 Workbook 2
5回	教科書Unit 3 8種類の設問の対策 Workbook 3
6回	e-Learning教材学習テスト1回目 教科書Unit 3 8種類の設問の対策 Workbook 3
7回	教科書Unit 4 問題文の種類 Workbook 4
8回	教科書Unit 4 問題文の種類 Workbook 4
9回	教科書Unit 5 表現の言い換え Workbook 5
10回	教科書Unit 5 表現の言い換え Workbook 5
11回	教科書Unit 6 タイムマネジメント Workbook 6
12回	教科書Unit 6 タイムマネジメント Workbook 6
13回	教科書Unit 7 速読テクニック Workbook 7
14回	e-Learning教材学習テスト2回目 教科書Unit 7 速読テクニック Workbook 7
15回	教科書Unit 8 問題練習 Workbook 8
16回	期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009027	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Target students	L1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	言語教育研究センター 1F (教養教育棟B棟 1F)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2380		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	4年間の基礎となる英語力を身につけ、実践的な英語の運用能力を養成する。また、グループワークやグループ発表を通して、他者と関わりながら英語力を養う大切さを学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にあった英語の学習方法を身につけることができる。</li> <li>・ある場面において適切な英語表現を使って、相手に自分の考えを伝えることができる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	TOEIC-IPテスト : 20 % e-learning教材学習テスト (2回) : 20 % 期末テスト : 25 % 授業中の取り組みと発表評価 : 25 % e-learningポートフォリオ : 10 %		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前にビデオ教材を視聴し、課題に取り組む。課題は、LSCSにて提出する。ビデオ教材については、随時教員から配布する。		
キーワード / Key word	学習方略、ストーリー、ライティング、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book			
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	

1	オリエンテーション アンケートへの回答 グループ分け	F
2	英語の学習方法について考える これまでの学習法 他者の学習法 学習法の問題点	A B
3	英語の学習方法について学ぶ Language learning styles and strategiesに関するプリントを読み、 理解する。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
4	英語の学習方法について学ぶ Language learning styles and strategiesに関するプリントを読み、 理解する。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A D
5	英語の学習方法について学ぶ 3、4回目の授業で学んだ知識をもとに、実践計画を立てる。 グループでディスカッションを行う。	A B
6	e-learning教材学習テスト(1回目) 英語の学習方法について学ぶ 実践した内容、感想を英語でまとめる。	A B
7	英語の学習方法について学ぶ 6回でまとめた内容を英語で発表する。	A B D
8	発表の評価をフィードバック 本の読み方を考える Readingの大切さを考える 自分のReading力について考える	A B
9	本の読み方を学ぶ "How to read a book"に書かれている内容を読み解く。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
10	本の読み方を学ぶ "How to read a book"に書かれている内容を読み解く。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
11	本の読み方を学ぶ "How to read a book"に書かれている内容を読み解く。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
12	本の読み方を学ぶ "How to read a book"に書かれている内容を読み解く。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
13	本の読み方を学ぶ "How to read a book"に書かれている内容を読み解く。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
14	e-learning教材学習テスト(2回目) 本の読み方を学ぶ "How to read a book"に書かれている内容を読み解く。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
15	まとめ	F
16	期末テスト	E

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009028	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Target students	教 (L3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	(1)映画を題材にした教材を用い、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)映画とその文化的、社会的背景を読み解く。		
授業到達目標/Course goals	映画と社会との相互関係を知り、作品に登場する英語表現を学んで国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	教員評価分60%(定期試験30%、小テスト、出席、授業への取り組み30%) TOEIC IP20% e-learning教材学習テスト(3step・Power Words)20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前の予習、次回小テストのための復習必須		
キーワード/Key word	映画と文化的背景		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Learn English with TITANIC (SEIBIDO)		
受講要件(履修条件) /Prerequisites, etc.	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業で指示		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明		

第2回	Unit 1 (The Woman in the Picture)
第3回	Unit 2 (Back to Titanic)
第4回	Unit 3 (Leaving Port)
第5回	Unit 4 (Don't Do It)
第6回	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 5 (Do You Love Him?)
第7回	Unit 6 (I Can't See You)
第8回	Unit 7 (I'm Flying)
第9回	Unit 8 (Iceberg Right Ahead!)
第10回	Unit 9 (An Honest Thief)
第11回	Unit 10 (Goodbye, Mother)
第12回	Unit 11 (Get in the Boat)
第13回	Unit 12 (Two Tragic Bullets)
第14回	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 13 (Promise Me)
第15回	Unit 14 (Roses Secret)
第16回	期末試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009029	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Target students	L6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	言語教育研究センター廣江研究室 (環境科学部東棟1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	論理的に大意を素早く日本語であるいは英語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	TOEIC IP(20%), e-learning教材学習テスト(20%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円 (税別)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit1		

第3回	Listening 2, テキストUnit2
第4回	Listening 3, テキストUnit3
第5回	Listening 4, テキストUnit4
第6回	e-learning教材学習テスト(1) (約30分程度) テキストUnit5
第7回	Listening 5, テキストUnit6
第8回	DVD教材(1), テキストUnit8
第9回	DVD教材(2), テキストUnit9
第10回	Listening 6, テキストUnit10
第11回	テキストUnit11
第12回	Listening 7, テキストUnit12
第13回	Listening 8, テキストUnit13
第14回	e-learning教材学習テスト(2) (約30分程度) テキストUnit14&15
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009030	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 典生 / Norio Nakamura		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakn nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	515		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	英語の技能、特にリスニングの技能を高めるための授業である。リスニング力は4技能のうち最も基本となる技能であり、この技能が伸長することで他技能への良い波及効果も期待できる。受講者は各自のリスニング力伸長を目指し、音声・映像教材を用いて、シャドウイングを採り入れた学習を行う。		
授業到達目標/Course goals	1. シャドウイングの理論と実践を理解して、自ら学習することができる 2. 開講時よりも高い英語リスニング力を習得する		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業中の課題に対する取組20%。リスニングテストによる到達度、伸長度40%。TOEIC-IP 20%、e-learning教材学習テスト(3step, Power Words) 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	4技能、聴解力、シャドウイング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英語学習は積み重ねが大事であるので、無断欠席、遅刻は厳禁。特に2回行うリスニングテストを欠席した学生は、成績を出すための資料がそろわないため、基本的には成績が出せないことになるので注意されたい。 知識伝達型の授業ではないので、毎回自ら積極的に授業に臨むこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	Orientation
第 2 回	Listening pre-test
第 3 回	Getting Information
第 4 回	Checking in a hotel
第 5 回	Asking for directions
第 6 回	Renting a car e-learning教材学習テスト1回目
第 7 回	Shadowing Test 1
第 8 回	Ordering a meal
第 9 回	Shopping for clothes
第 1 0 回	Asking for a favor
第 1 1 回	Meeting a friend
第 1 2 回	Stress-timed rhythm
第 1 3 回	Checking out of a hotel
第 1 4 回	Expressing a preference e-learning教材学習テスト2回目
第 1 5 回	Shadowing Test 2
第 1 6 回	Listening post-test

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009031	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Target students	M4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	様々な場面設定でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。インターネット、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Course goals	1. 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験30%、小テスト10%、ペアでの会話発表10%、積極的な授業への参加状況10%、e-Learning教材学習テスト20%、TOEIC-IP20% (60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	テキストには音声が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。授業の始まりまたは終わりに暗唱の小テストをします(5回程度)。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Toshiaki Nishihara 『Medical English Clinic』(センゲージラーニング、2017年)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回 (4月11日)	オリエンテーション
2回 (4月18日)	初診&問診表
3回 (4月25日)	診察室での基本会話&ノロウィルス
4回 (5月2日)	インフルエンザの症状&タミフル
5回 (5月9日)	痛みへの対処 & BSE
6回 (5月16日)	e-Learning教材学習テスト1回目 / 胃痛&摂食障害(1)
7回 (5月23日)	胃痛&摂食障害(2) / 英字新聞を読む
8回 (5月30日)	腹痛&ホルモン攪乱物質
9回 (6月6日)	尿検査&市販薬
10回 (6月13日)	コレステロール&メタボリック症候群
11回 (6月20日)	貧血&バランスのとれた食事
12回 (6月27日)	怪我&ウォーキングの効率
13回 (7月4日)	ペア発表
14回 (7月11日)	e-Learning教材学習テスト2回目 / 手術の準備&入院手続き(1)
15回 (7月18日)	手術の準備&入院手続き(2) / リスニング・リーディングのポイント確認
16回 (7月25日)	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009032	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students	M5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控え室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	ねらい: 簡単な英語で書かれたテキストを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、英文の理解を深めます。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標 / Course goals	到達目標: 大学入学時まで培われてきた総合的な学力を前提に辞書なしでもテキストの英語を読めるようになることを目指します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験60% TOEIC-IP 20% e-Learning教材学習テスト20% (1回目10% + 2回目10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。		
キーワード / Key word	1400語の語彙で書かれたテキスト 英語史		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	The History of the English Language (Oxford Univ. Press) 第1回目の授業で教室にて販売します。 プリント		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	定期試験の受講資格は規定による。教科書は必ず購入すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	A world language		
第3回	The beginnings of English		
第4回	Old English		
第5回	The Normans in England		

第6回	e-Learning教材学習テスト1回目
第7回	Middle English
第8回	Modern English begins
第9回	Bringing order to English
第10回	Modern English grows
第11回	English in the US
第12回	All kinds of English
第13回	Jargon and slang
第14回	e-Learning 教材学習テスト2回目
第15回	The Future of English



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009033	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	E-mailで受け付けます。r_otsubo hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	この授業は科学技術、医療や社会、経済に関する英字新聞に触れ、今起きている諸問題を多角的に読んでいく読解を中心とした授業です。また、各トピックに関連した会話音声声を聴き、リスニング力も養成していきます。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 社会の多様性が理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への取り組み・復習テスト20% + TOEIC IP 20% + e-Learning 教材学習テスト20% + 定期試験40% = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前にテキストで扱うトピックについてインターネットや書籍を用い、テキスト内に出てくる専門用語について調べておいて下さい。また、翌週に復習テストを行うのでしっかり復習しておいて下さい。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	ソーシャル・キーワード - メディア英語で社会を読み解く - 三修社 ¥1,700 + 税		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業は全回、予習をして臨んで下さい。 授業参加についてIntroductionで説明をします必ず1回目の授業に出席して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	教科書販売・Introduction		
2回目	Listening + Reading: Baggage drop-offs, delivery free up tourists		
3回目	復習テスト Listening + Reading: Itchy mouth or throat? You could be allergic to fruit		

4回目	復習テスト Listening+Reading:Food drives spread awareness of poverty, food waste
5回目	復習テスト Listening+Reading:Glider from Miyazaki's 'Nausicaa' anime gets test flight
6回目	e-Learning 教材学習テスト1回目 Listening+Reading:Hebocon robot contests honor ineptitude, denounce skill
7回目	復習テスト Listening+Reading:Digital tech takes hassle out of arranging weddings
8回目	復習テスト Listening+Reading:A company goes proactive in seeking to boost employees' health
9回目	復習テスト Listening+Reading:Old schools play role in vitalization
10回目	復習テスト Listening+Reading:Stretches for the digital age: A specialist recommends exercises for smartphone users
11回目	復習テスト Listening+Reading:"Protective wall" safeguards consumer IoT devices
12回目	復習テスト Listening+Reading:Nurse in photo describes her arrest in Baton Rouge as 'work of God'
13回目	復習テスト Listening+Reading:Ministry website lists female employment data
14回目	e-Learning 教材学習テスト2回目 Listening+Reading:Back to basics with drugs as 'kampo' cures prove effective
15回目	復習テスト Listening+Reading:Ride-sharing can help rural areas
16回目	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009034	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T7) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students	T7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	14:20? (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語)?必要最低限の英語 (及び米語)?を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	<p>①英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>A習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>B習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>C各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。</p> <p>D英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>E日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>F異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、TOEIC-IP20%、e-Learning教材学習テスト20% (1回目10%+2回目10%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業に説明する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード / Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		

受講要件（履修条件）/Prerequisites, etc.	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動（積極的かつ自発的な発言等）が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか） / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』?分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-Learning教材学習テスト（1回目）、連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+t/と/n/+d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化 ①）
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化 A）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響）
第11回	On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	At an Airport(1)
第14回	e-Learning教材学習テスト（2回目）、At an Airport(2)
第15回	Taking a taxi、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009035	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T8) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Target students	T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	TOEIC IP(20%), e-learning教材学習テスト(20%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit 1		

第3回	Listening 2, テキストUnit2
第4回	Listening 3, テキストUnit3
第5回	Listening 4, テキストUnit4
第6回	e-learning教材学習テスト(1) (約30分程度) テキストUnit5
第7回	Listening 5, テキストUnit 6
第8回	DVD教材(1), テキストUnit 7
第9回	DVD教材(2), テキストUnit 8
第10回	Listening 6, テキストUnit 9
第11回	テキストUnit 10
第12回	Listening 7, テキストUnit 11
第13回	Listening 8, テキストUnit 12
第14回	e-learning教材学習テスト(2) (約30分程度) テキストUnit 13
第15回	まとめ、テキストUnit14&15
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009036	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (D1・D2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	E-mailで受け付けます。r_otsubo hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	健康・医療、異文化理解、サイエンス・テクノロジーと多岐にわたるトピックに触れ、今、世界がどのような問題を抱えているのか理解を深める読解を中心とした授業です。また、リスニングの上達に必要なとされる知識を身に付け、リスニング力の強化も図ります。		
授業到達目標/Course goals	1. グローバルかつ地域の視点から多様性を理解する態度・志向性を身につけることができる。 2. 論理的・批判的に物事を考える能力を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業への取り組み・復習テスト20% + TOEIC IP 20% + e-Learning 教材学習テスト20% + 定期試験40% = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前にテキストで扱うトピックについてインターネットや書籍を用い、テキスト内に出てくる専門用語について調べておいて下さい。また、翌週に復習テストを行うのでしっかり復習しておいて下さい。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	AMBITIONS Pre-intermediate 金星堂 ¥2,000 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は全回、予習をして臨んで下さい。 授業参加について Introduction で説明をしますので必ず1回目の授業に出席して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	教科書販売・Introduction		
2回目	Cross-Cultural Understanding (Listening Focus + Reading Focus)		
3回目	復習テスト Foods (Listening Focus + Reading Focus)		

4回目	復習テスト Foreign Language Learning (Listening Focus + Reading Focus)
5回目	復習テスト Sports (Listening Focus + Reading Focus)
6回目	e-Learning 教材学習テスト1回目 Fashion (Listening Focus + Reading Focus)
7回目	復習テスト Living Things (Listening Focus + Reading Focus)
8回目	復習テスト Art (Listening Focus + Reading Focus)
9回目	復習テスト Global Issues (Listening Focus + Reading Focus)
10回目	復習テスト Japanese Culture (Listening Focus + Reading Focus)
11回目	復習テスト Human Rights (Listening Focus + Reading Focus)
12回目	復習テスト Health & Medical Issues (Listening Focus + Reading Focus)
13回目	復習テスト Environmental Issues (Listening Focus + Reading Focus)
14回目	e-Learning 教材学習テスト2回目 Economy & Industry (Listening Focus + Reading Focus)
15回目	復習テスト Legal Issues (Listening Focus + Reading Focus)
16回目	定期試験



学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009037	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students	工学部 T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikeda_shiga yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 4時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。練習問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。ロンドン旅行での英語表現を通して、ダイアログの背景や、英国とその文化に対する理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。		
授業到達目標/Course goals	基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。日常会話を通して、ダイアログの背景や、イギリスの文化に対する理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、TOEIC-IP2 0%、e-learning教材学習テスト20%、小テスト10%を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。  また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて授業に臨むこと。 DVDを必ず自宅で見てください。 授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。 小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード / Key word	イギリス英語 / イギリスはロンドンでの旅行における様々な状況の中での英会話のダイアログ / 有用な英語表現とその応用 / 多彩なトピックス / 豊富な練習問題 / 有用な映像と音声教材		

教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	London Alive 『さあ行こう London!』 ( Paul Snowden / Emily Kyoko Snowden: 朝日出版社 ) ( DVD付き ) 音声教材は、 <a href="http://text.asahipress.com/free/english">http://text.asahipress.com/free/english</a> から、無料でダウンロードしておきましょう。 英和辞典 ( 電子辞書 ) を必携すること。
受講要件 ( 履修条件 ) /Prerequisites, etc.	授業には全回出席しましょう。授業では、英語表現を覚えながら話す練習を、時間のある限り力を入れて行います。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んでください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 ( 上記連絡先参照 ) または「アシスト広場」 ( 障がい学生支援室 ) にご相談下さい。 アシスト広場 ( 障がい学生支援室 ) 連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 ( URL ) /Remarks(URL)	授業中は、とにかく発声練習を徹底しますので、映像を初めて見る時間などありません。必ず事前の自宅学習で、DVDを見て問題を解き、ダウンロードした音声教材を何度も聴いておきましょう。 クラスに出て初めてテキストや音声に触れるようなことがないようにしてください。
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に臨んでください。必ず予め英単語の意味を調べ、問題を解いておきましょう。毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) /Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回 4 月 6 日	導入・授業内容の説明
第 2 回 4 月 13 日	Unit 1 Arriving at the Hotel
第 3 回 4 月 20 日	Unit 2 A Taxi Ride
第 4 回 4 月 27 日	Unit 3 Shakespeare's Globe Theatre
第 5 回 5 月 1 日	Unit 4 A Cruise on the River Thames
第 6 回 5 月 18 日	【第 1 回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 5 Hungerford Bridge
第 7 回 5 月 25 日	Unit 6 The Imperial War Museum Unit 7 The London Tube
第 8 回 6 月 1 日	Unit 7 The London Tube Unit 8 At the Shops
第 9 回 6 月 8 日	Unit 9 At Sally's Flat
第 10 回 6 月 15 日	Unit 10 Car Hire
第 11 回 6 月 22 日	Unit 11 At a London Pub
第 12 回 6 月 29 日	Unit 12 Finding the Way
第 13 回 7 月 6 日	Unit 13 Trafalgar Square
第 14 回 7 月 13 日	【第 2 回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 14 Cycle Hire
第 15 回 7 月 20 日	Unit 15 Time to Leave
第 16 回 8 月 3 日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009038	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー / Office hours	E-mailで受け付けます。r_otsubo hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	この授業は科学技術、観光、経済、ファッションなど多岐にわたるトピックに触れ、今起きている諸問題を多角的に読んでいく読解を中心とした授業です。また、各トピックに関連した会話文音声を読み、リスニング力も養成していきます。		
授業到達目標 / Course goals	1. グローバルかつ地域の視点から多様性を理解する態度・志向性を身につけることができる。 2. 論理的・批判的に物事を考える能力を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 汎用的能力 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業への取り組み・復習テスト20% + TOEIC IP 20% + e-Learning 教材学習テスト20% + 定期試験40% = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前にテキストで扱うトピックについてインターネットや書籍を用い、テキスト内に出てくる専門用語について調べておいて下さい。また、翌週に復習テストを行うのでしっかり復習しておいて下さい。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Trend Watching 2 成美堂 ¥1,900 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は全回、予習をして臨んで下さい。 授業参加について Introduction で説明をします必ず1回目の授業に出席して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	教科書販売・Introduction		
2回目	Fake Online Reviews		
3回目	復習テスト Could I Become a You Tuber?		

4回目	復習テスト Selling Viral Videos Makes Big Money
5回目	復習テスト Retro Video Games Become Popular Again
6回目	e-Learning 教材学習テスト1回目 Why Don't We Ask Siri?
7回目	復習テスト Uncanny Valley
8回目	復習テスト Toddlers and Technology
9回目	復習テスト No More Game-Changing Technology?
10回目	復習テスト Waiting in Line for Delicious New Food
11回目	復習テスト Sympathy for the Delivery Man
12回目	復習テスト Black Friday
13回目	復習テスト Graduation Trips
14回目	e-Learning 教材学習テスト2回目 Aspects of Sneaker Culture
15回目	復習テスト The Union Jack as Fashion Symbol
16回目	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009039	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	akinatsuhana gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師控室 前期 金曜日(13:30-14:30) 後期 水曜日(12:00-13:00) akinatsuhana gmail.com		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	国際社会の中で、また、学生生活を送る上で必要となる基本的な英語コミュニケーション力を養成する授業です。簡潔で平易な英語表現を用いて、自己表現力と情報伝達力をペアワークやグループワーク、プレゼンテーションを通して身につけていきます。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語による自己紹介、ロールプレイ、情報交換が臆せずに行えるようになる。</li> <li>2. シンプルな英語表現を用いて、適切な指示や案内、自己表現ができるようになる。</li> <li>3. 身近なトピックスについて、グループで協働してプレゼンテーションができるようになる。</li> <li>4. 英語の発音の特徴を学び、リスニングとスピーキングに役立てることができる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への取り組み・授業理解確認小テスト5%、課題10%、プレゼンテーション20%、定期試験25% TOEIC IP 20%、e-learning教材学習テスト 20% (1回目 - 10%、2回目 - 10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業で学んだKey Phrase や要点を必ず復習して下さい。次の授業で確認の小テストを行う時と課題を提出してもらう時があります。授業の中で指示するので確認してください。また、課題はグループワークを円滑に進め、充実させるために、期限を守って取り組んで下さい。教科書は副教材です。授業冒頭の音読練習に使います。各ユニットのリスニング演習を自宅学習でできて下さい。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Listening Trainer for English Communication 英語耳を鍛えるリスニングドリル、南雲堂		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	自宅学習から授業中のペアワーク・グループワークまでを一つの流れと捉え、真摯に積極的に取り組んでください。英語で話すことが楽しくなり、苦手意識が薄れたり、自信がつくような授業にしていきたいと思えます。参加型の楽しい授業にしていきたいと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
4月6日	この授業とe-learning 学習について理解します。 大学生になった自分について(所属の学部、学科、専攻など) 簡単な自己紹介ができるようになります。	B
4月13日	Body language : Posture, Gestures and Voice 初対面のクラスメンバーと英語の挨拶や自己紹介を介して 臆せずしゃべれるようになります。 ジェスチャーや声のボリュームを意識できるようになります。	B
4月20日	Short presentation: Self introduction パワーポイントスライドを使った自己紹介ができるようになります。	E
4月27日	Responding and reflecting : How are you ? に対してバリエーション のある返答ができるようになります。ニュアンスの違いを身につけ、短い 形容詞を使った自己表現力をつけていきます。	B
5月11日	TED speechを聞いて、グループで話し合い、positive and negative words を使ってみんなの考えを表現していきます。 一つの形容詞から表現を増やしていく方法を学びます。	A B
5月18日	第一回e-learning教材学習テスト 前回に続き、TED speechを教材とし、音読とリスニングの関係について 理解していきます。	B
5月25日	Describing one's schedule & Making an appointment 大学生になった自分の日課を英語で簡潔に表現できるようになり、クラス メンバーと英語でアポをとれるようになります。	B
6月1日	Giving directions on campus 大学のキャンパスや街中で場所を聞かれた時に、 適切な表現で指示や案内ができるようになります。	A B
6月8日	Describing locations 路面電車の乗継方法や商品の位置などを正確に表現できるようになりま す。	A B
6月15日	How to outline a presentation 授業で学んできた自己表現力を活用し 、身近なトピックスについてのプレゼンテーションテーマをグループで 話し合っ決め、構成を考えていきます。 プレゼンの構成および流れを理解していきます。	A B
6月22日	Preparing for a presentation 聞き手を配慮した情報発信のためのプレゼンテーションをグループメン バーと協働して作成していくことに取り組みます。	B
6月29日	Preparing for a presentation グループメンバーとパワーポイントスライドを使って、 プレゼンテーションのリハーサルに取り組みます。	B
7月6日	Presentation: グループプレゼンテーションができて、尚且つ、良い聞き 手とすることができます。他のグループのプレゼンテーションに対し て質問をしたり、コメントをしたりすることにも慣れていきます。	A B E
7月13日	第二回e-learning教材学習テスト グループプレゼンテーションができて、尚且つ、良い聞き手となること ができます。他のグループのプレゼンテーションに対して質問をしたり 、コメントをしたりすることにも慣れていきます。	A B E
7月20日	プレゼンテーションに対するクラスメンバーのコメントや評価を 総括し、15回の授業の振り返りをします。	A
7月27日	定期試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590009040	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第33講義室 / Room 33		
対象学生 (クラス等) / Target students	T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-ikeda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部本館6階(621号室)		
担当教員TEL/Tel	819-2092		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	?大学入学時までに習得した、総合的な英語力をさらに伸ばすこと。とりわけ、「読み」「書き」「聞き」「話す」という4つのスキルのうち、「読解力」「聴解力」に重点を置く。 ?「読解力」指導については、内容に応じて、音読及びボトムアップ、トップダウン的読解方法の実践指導を行う。		
授業到達目標/Course goals	?要点を的確につかみ取る英語読解力と基本的な英語聴解力を身につけること。 ?TOEIC Test で500点以上の高得点を取れるような日常的努力を目指し、コールシステムなどの機材を活用する積極性を持つこと。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	期末筆記試験(60%), TOEIC-IP(20%)とe-Learning教材学習テスト(20%)など教養教育(英語)の規則に従って、評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業の前に1ユニット分の予習は必ずすませてから授業に臨むこと。		
キーワード / Key word	Practice of "critical reading"		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Masatoshi Tabuki et all, Critical Insight on Contemporary Issue, 成美堂		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	指定クラスの学生及び再履修学生		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	毎日のEラーニング(自習教材)の活用、授業前の予習等規則的な学習に努めること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	以下のおおまかな順番で授業を進める。 第1回：授業概要（テキストを通じた授業内容の説明） Unit 1 :Overweight and Over-dieting
第2回	第2回： Unit 2 :Making Dirty Air Illegal
第3回	第3回： Unit 3 :Fish Sick from Dioxin
第4回	第4回： Unit 4 :Chocokate Helps the Heart
第5回	第5回： Unit 5 :Making Hydrogen Fuel from Pound Algae
第6回	第6回： e-learning教材学習テスト（第1回） Unit 6 :Developing a New Drug for Alzheimer's Disease
第7回	第7回： Unit 7 :Excessive Alcohol Shrinks the Brain
第8回	第8回： Unit 8 :Tampering with the Genes of Fish
第9回	第9回： Unit 9 :Urban Warming: Cities Create Their Own Climates
第10回	第10回： Unit 10 :The Effects of High Blood Pressure
第11回	第11回： Unit 11 :Frequent Fliers and Radiation
第12回	第12回： Unit 12 :War on Waste
第13回	第13回： Unit 13:Nuclear Fears Confirmed by Tokai Poll
第14回	第14回： e-learning教材学習テスト（第2回） Unit 14:Dam Plan:Progress or Pork Barrel
第15回	第15回：まとめと定期試験のための質問タイム
第16回	定期試験（筆記）：形式については第15講の授業時に説明